

北総線沿線地域のさらなる活性化に向け、情報発信！
子育て世代にピッタリの暮らしの魅力を詰め込んだ
沿線情報誌『もっと 北総 Smile 2025』発刊！
～12月23日(月)より無料配布開始～

北総鉄道(本社:千葉県鎌ヶ谷市、社長:持永 秀毅)では、子育て世代に役立つ情報を中心に紹介する沿線情報誌「もっと 北総 Smile 2025」を、2024年12月23日(月)より北総線各駅、都営線の一部の駅などにて4万部無料配布すると同時に、北総鉄道ホームページにてWeb版を公開します。

「もっと 北総 Smile」は、沿線地域の魅力や子育て支援情報を子育て世代に発信することで、沿線外からの転入促進や、沿線内での子育て生活の魅力を再認識していただき、沿線地域の活性化を図ることを目的として制作している冊子です。北総線を知らない方にも、豊かな自然と、便利さの両方を兼ね備えた街の魅力を知っていただくきっかけとなる1冊となれば幸いです。

今号の特徴的なコンテンツとして、専門家に聞く「北総線沿線で家を建てるメリット」や、近年中に整備予定の新たな商業施設や子育て支援施設を特集した「近未来予想図」を掲載。この他、子どもと一緒に楽しめるお散歩コースや、キッズスペース付き飲食店の紹介なども掲載し、子育て世代に役立つ情報が凝縮された内容となっています。

加えて、当社が子育て世代の応援と子育てしやすい地域の実現に向け実施した通学定期運賃大幅値下げ(約1/3)から約2年が経過し、沿線に暮らす子育て家族の生活の変化をインタビュー形式で掲載しています。

北総鉄道では、今後も沿線地域と協力し、魅力を発信することで、より一層の沿線活性化に努めてまいります。

本件の詳細は次頁の通りです。



子育て世代向け沿線情報誌「もっと 北総 Smile 2025」の発刊について

1. 発行日 2024年12月23日(月)
2. 配布箇所 北総線各駅、京成線都内一部の駅、都営地下鉄一部の駅、千葉県及び沿線6市(市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市)公共施設他
3. 発行部数 4万部
4. サイズ B5判 全40ページ(フルカラー)
5. 誌面構成
 - ・1 ～ 2ページ … 北総線の紹介
 - ・3 ～ 4ページ … 通学定期値下げ情報
北総線沿線ニュース
 - ・5 ～ 6ページ … 北総線沿線に住むご家族へのインタビュー
暮らしの大先輩に「運賃値下げ」のことを聞いてみた！
値下げ後の沿線の学校からの喜びの声
 - ・7 ～ 8ページ … 北総線沿線で家を建てるメリット
 - ・9 ～ 10 ページ … 経験者に聞く！北総線沿線に家を建てた方へのインタビュー
 - ・11 ～ 12 ページ… 北総線沿線近未来予想図
 - ・13 ～ 32 ページ … 沿線市の子育て支援情報
(市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市、白井市、印西市)
ちい旅 市川市(半日旅)
ちい旅 印西市(半日旅)
 - ・33 ～ 34 ページ … 北総線沿線の最新住宅情報をご紹介します
各市の土地相場
 - ・35 ～ 36ページ … 「ローラーすべり台」がある公園
 - ・37 ～ 38ページ … キッズスペース付き飲食店
他 全40ページ
6. お問い合わせ先 企画室 Tel047(445)1902

【参考情報】 ■誌面画像

通学定期通賃の大幅値下げに
沿線住民の声

北総線沿線に住むご家族へのインタビュー
暮らしの大先輩に「通賃値下げ」のことを聞いてみた！

2022年10月1日から通学定期通賃の大幅値下げを実施した北総線ですが、値下げから2年経った今、北総線にお住まいのご家族には、どのような変化が訪れたのでしょうか？高校受験を控えた中学3年生のお子さんがいらっしやる白井市にお住まいの鈴木ファミリーに、通学定期通賃大幅値下げ後のお子さんの進路選択の変化などを中心に話を伺いました。

鈴木ファミリー
おしゃべりな長男と3人娘を、通学が楽になる通学定期通賃で育てる5人家族です。

沿線の学校からも嬉しい声

本校は、今年で42年目を迎えた、白井市唯一の県立高校です。生徒たちは様々な分野の中で、部活動やボランティア活動、探究活動等、日々教育活動に取り組んでいます。白井駅から学校まで徒歩12分で登校できるため、約58%の生徒が北総線を利用しています。2022年10月に北総線の通学定期通賃が大幅に値下げされてから、北総線利用による通学者が約14%増加しました。安全かつ低コストで通学できる環境が良い、「交通アクセスの良さ」も強みとなり、たいへん嬉しく思っています。

千歳立白井高等学校
校長 福田 一穂さん

北総線の通学定期通賃の大幅値下げによって、進路選択の変化などはあったのでしょうか？

私の場合、はじめは制服の可愛さ(笑)や駅から近いという点で、北総線の通学定期通賃値下げにより、中学校の先輩から先輩が谷駅経由で東武アーバンパークラインを使って柏方面の高校に通っているという話を聞いたんです。そこから柏方面にまで通学を上げ、自分の将来像も見えた上で進路を考えるようになりました。両親の負担も考えると、値下げされれば、柏方面にまで通学を上げて進路を考えることはなかったと思います。

長女

通学定期が安くなった分のお金の使い道について話し合っていますか？

来月4月以降の通学定期通賃で予算を組む、買いた分の差額は、貯蓄や運用に回す予定です。貯蓄の一部は、ちょっと贅沢ですが、普段はなかなか手回らない私や子どもたちの美容代に充てたいと思っています。

ママ

北総線沿線に移住を考えている方たちへ一言

子育て支援施設が充実しているのも、子どもにとっては天候に関係なく遊べる場所が多く、最高の環境なのではないでしょうか。地域の安心感、安全時の安心感もありません。また、都内へのアクセスも良い場所なので、通勤・通学の面から考えても、無難な場所だと思います。通学定期通賃が生活で使える点も、かすかに聞こえる虫の鳴き声を聞きながら、いつの間にか眠りに落ちていくというのが本当の贅沢な気がします。

ママ

<「北総線沿線に住むご家族へのインタビュー」紹介ページ>

なぜ、子育て世代に人気の家？

北総線沿線の住まいの裏側に迫る！

都内と比べ、土地が安いことから、低予算でも理想の住宅を手に入ると人気の北総線沿線ですが、実際はどうなのでしょう？北総線沿線に長年、注文住宅の建設を手掛けてきた神野工務店の神野直孝社長に専門家の目線から、北総線沿線で家を建てるメリットなどについて伺いました。

Q1 スズパ！北総線沿線で家を建てるメリットを教えてください！

たくさんメリットがありますが、以下の4つは特に大きなメリットだと思います。

POINT 1 都内と比べ、圧倒的に土地が安い

POINT 2 強固な地盤

POINT 3 自然豊かで治安が良い

POINT 4 待機児童が少ない

こうした条件が揃っていることから、北総線沿線は共働き世帯にピッタリなエリアと言えるでしょう。

Q2 北総線沿線で家を建てる際、オススメの建て方は？

オススメ1 広い土地と自然を活かし、ガーデニングを施した直やウッドデッキで作ったテラスなどを設けた家

オススメ2 駅家との距離が離れた家づくりが可能なため、大規模の窓や吹き抜けなど開放感のあるデザインを取り入れた家

オススメ3 趣味のスペースを設けた家

オススメ4 薪ストーブを取り入れた家

Q3 北総線沿線で家を建てる場合のアドバイスなどはありますか？

ADVICE 1 大きめの窓や吹き抜けを取り入れる際は、時期や時間帯によっては日差しが入り過ぎるため、遮光カーテンやブラインドと併用を要する

ADVICE 2 適度な自然が残っている北総線沿線では、断熱性の高い家がオススメ！ヒートショックの発生を抑えられるほか、光熱費の削減にも

ADVICE 3 住宅の売上の要因は断熱性だけでなく「間取り」にもあり！断熱性を高めた「高気密高断熱」を実現し、施工業者に任せずに、自身も家づくりのための情報収集を行うべし

神野工務店 KAMINO KOUMUTEN

Profile 2026年に創業60周年を迎える白井市の工務店。2003年に拠点を松戸市から白井市に移し、以来、北総線沿線を中心に省エネ性能に優れた住宅「ZEH（ゼッチ）」を多く手がけている。代々大工の家に、神野社長自身も25年以上の大工職を持つ。

代表取締役社長 神野 直孝

知っておきたい
北総線沿線各市の
移住支援制度

子育て世代や移住者に嬉しい、お得な移住支援制度の最新情報をご紹介します！結婚や出産を機に北総線沿線地域で新生活を始めようと思っている方にとって必見の情報を集めました！

●印西市
●空き家リフォーム工事補助金
既存住宅を購入し、2年以内にリフォームする場合、工事費の一部を補助(工事費の10%、最大10万円)。
※子育て世帯や高齢者が住みこむ場合は加算あり

●鎌ヶ谷市
●引越・住宅取得費などの一部を補助(最大60万円)
●結婚新生活支援事業
結婚を機に、鎌ヶ谷市内に転入し、新生活を始める世帯に対し、住宅費や引越し費用など、新生活に必要な経費の一部を補助(新婚世帯当たり最大60万円)。

●空き家バンク制度
○市内の空家を「貸したい」「売りたい」所有者と「借りたい」「買いたい」希望者と結びつける取り組みを実施。
○空き家バンク制度に登録されている空き家のリフォーム費の一部を補助(最大100万円)。

●松戸市
●結婚新生活住宅支援(最大60万円)
結婚して新生活を始める世帯に対し、最大60万円の補助を実施。条件を満たせば、住宅購入費用や借入利息、リフォーム費用などの補助を予算の範囲内で実施。
●三世帯同居など住宅取得支援
中学生以下のお子さんがいて(出産予定を含む)、市内に住む親世帯と近隣または結婚するため、住宅を取得する際の費用の一部を補助(最大100万円)。

●船橋市
●親世代・子育て世帯近隣同居支援事業(10万円)
親世代と子育て世帯が同居または同居する目的の住宅の建築・購入に伴う費用の助成により、多世代が地域で交流し、安心して暮らすことができるよう支援。(住宅の取得に係る契約前に届出が必要)
※同居世帯は同居する世帯が同一の小規模な、または賃貸で2世帯以上の世帯での同居が必要

●結城市
●結婚新生活支援事業(最大30万円)
結婚して新生活を始める世帯に対し、住宅の取得、賃借などにかかる費用の一部を補助。

●白井市
●住宅取得の一部を補助(最大50万円)
●若い世代定住プロジェクト近隣推進事業
世代間の交流を促すため、白井市に居住する親世代と同居・近居する子育て世帯を対象に住宅取得(新築・増築・リフォーム)を補助(最大50万円)。
●結婚新生活支援
令和7年度以降、結婚新生活を応援するために経済的支援として、家賃・引越・引越し費用・リフォーム費用などの補助を実施。
※対象世帯は結婚した世帯に限る

●教育資金の返済支援(最大40万円)
●若い世代定住定住支援事業
大学など就学中から市内に居住している若い世代に対し、就職後、市内に定住していることを条件に、5年間(年上8万円、最大40万円)の対象者が借り上げた教育資金の返済支援金を給付。

<「北総線沿線で家を建てるメリット」紹介ページ>

